

図画工作科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
- 絵の具の正しい使い方が少しずつ身に付いてきた。
- 自分の目標のために、見たり感じたりしたことを活かしながら、楽しんで作品作りに取り組むことができた。
- (2) 課題
- 絵の具などの混色や重色のつくり方について、授業の中で継続的に取り上げる必要がある。
- 表現の幅を広げるために、目的に合わせて、今までに習得した技法を活用できるようにする。

2 観点ごとの実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	入学前までの経験に差があり、はさみの使い方などに差が出ている。色や形などに着目しながら絵や工作に表現することができる児童が多い。	絵の具の使い方が身に付いていない児童が多い。しかし材料などを様々な視点でとらえて、創造的に作ったり表したりすることが得意な児童が多い。	金づちなどの工具は初めて扱う児童が多い。また、手先の器用さに差があったり、絵の具の使い方が身に付いていなかったりする児童が一部いる。	のこぎりや彫刻刀などは初めて使う児童がほとんどである。表したいことに合わせた材料を選んで、工夫して表現することができる児童が多いが、材料に合った用具を自分で選んで使うことが苦手な児童も一部いる。	表したいことに合わせた材料を選んで、工夫して表現することができる児童が多いが、題材や材料に合った表し方の工夫ができない児童もいる。	使用したことのある材料や用具を活用し、表したいことに合わせて表現できる児童が多い。
思考・判断・表現	自分の発想で思いのままに取り組んでいる児童が多い。	友達の作品から見つけた良さを、自分の作品に活かせる児童が多い。一方で自由に発想するのが難しい児童もいる。	発想したものに合う材料や表現方法を自分なりに考えている。また友達の作品の良さを見つけ、表し方を広げている。	材料や仕組みなどから、表したいことを思いついて活動できている児童が多い。また、友達の作品の良さを感じ取り、自分の作品に取り入れようとしていることも多い。	積極的に作りたいものや表現方法を考えることができる児童が多い。しかし表したいものを明確にもてない児童が一定数いる。	感じたことや材料を基に、自分なりに表したいことや、形や色などを思いついて積極的に活動している児童が多い。
主体的に学習に取り組む態度	作りだす喜びを味わい、楽しく学習活動を行っている。また色や形に着目して、友達の作品を楽しく見ている。	表現したり、友達の作品を鑑賞したりする活動に、楽しんで取り組む児童が多い。	進んで表現したり、つくりだす喜びを味わったりしている。また友達の作品を鑑賞し、良いところを積極的に見つけようとしている。	つくりだす喜びを味わいながら、活動に積極的に取り組む児童が多い。	意欲的に活動に取り組む児童が多いが、集中力が続かず粘り強く取り組めない児童が一部いる。	意欲的に活動に取り組む児童が多いが、集中力が続かず意欲的に取り組めない児童が一部いる。

3 課題と授業の改善策

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
課 題	知識・ 技能	○はさみやのりの正しい扱い方を身に付けること。	○絵の具の扱いに慣れ、正しく扱えるようにすること。	○細かい作業をできるようにすること。 ○自信をもって絵の具を扱えるようにすること。	○表したいものに合った材料や用具を選んで作品をつくること。	○材料や用具をうまく活用し、表し方を工夫すること。	○既習した道具を正しく使ったり、用途に合わせて使い分けたりすること。
	思考・ 判断・ 表現	○何を描いたり作ったりすればよいか考えること。	○題材に対して自由に発想できるようにすること。	○作りたい物を細部まで考えようとする事。	○見本や友達の子の作品の真似をせずに想像して作品作りをすること。	○造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方について考えること。	○創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や考え方を深めたりすること。
	主体的に 学習に取 組む態度	○活動中の切り替えをしようとする事。	○細部までこだわって作ろうとする事。	○細部までこだわって作ろうとする事。	○粘り強く活動に取り組み、作品を作り込もうとする事。	○集中して活動に取り組み、細部までこだわって作ろうとする事。	○題材への苦手意識なく、意欲的に活動に取り組もうとする事。
授 業 の 改 善 策	知識・ 技能	○用具の使い方ははじめに確認し、使うたびに正しく使えているか振り返り、用具の安全で適切な使い方の定着を図る。	○絵の具を扱う題材を設定し、使い方を振り返り、正しく扱えるようにする。	○細かい作業を取り入れた題材を取り入れて、作業に慣れるようにする。 ○絵の具を扱う題材を設定し、使い方を振り返り、安心して正しく扱えるようにする。	○いままでに使用したことのある材料の特徴をその都度想起させ、自分が表したいものに合った材料を選べるようにする。	○表したいものに合わせて、材料や用具を選べるように、それぞれの特性を想起させたり、使い方を直接見せたりする。	○題材毎に使う道具の確認をして、安全に適切に道具を使えるようにする。
	思考・ 判断・ 表現	○身近なことや、想像しやすいテーマを設定し、本や資料などをいつでも見られるようにして、考えを広げられるようにする。	○班での話し合いを設けたり、クラス全体で考えたアイデアを共有したりして、発想が広がるようにする。	○作りたいものが決まったら、どのような表現や工夫をするのかまで細かく声掛けをして、様々な方法を提案して、いろいろな選択肢から選べるようにする。	○例や見本、資料などを用意し、友達の真似ではなく、自分で考えた作品ができるようにする。	○自分がよいと思うものや美しいと思うもの、表したいと思うものを考える時間を多めに設定し、想像や発想がしやすいようにする。	○自分がよいと思うものや美しいと思うもの、表したいと思うものを考える時間を多めに設定し、想像や発想がしやすいようにする。
	主体的に 学習に取 組む態度	○話を聞く、作業をする等の活動を明確に分け、集中して学習に取り組めるようにする。	○工夫点を相談しながら見付けて、本人が納得のいくように、作品の目標を決める。	○工夫点を相談しながら見付けて、本人が納得のいくように、作品の目標を決める。	○その都度よくできているところを見付けて声掛けしたり、作品の目標と一緒に考えたりして、意欲付けを行う。	○工夫点を相談しながら見付けて、本人が納得のいくように、作品の目標を決める。	○考えたことやデザインしたものの良いところを見付けて、声をかけるなどして意欲付けを行う。